

シラバス（総合学科・看護科 国語総合（現代文））

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
国語・国語総合（現代文）	1年	2	改訂版 高等学校 国語総合 （第一学習社）	現代文ウィニングクリア1 （尚文出版）
科目の概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・優れた評論および小説を鑑賞し、ものの見方・考え方を深める。 ・筆者の主張や登場人物の心理などをとらえる力を高める。 			
単元・学習内容			到達度目標	
評論「独創を生む条件」			文章の構成や論理の進め方を把握する。	
小説「羅生門」			情景描写などに込められた登場人物の心理を把握する。	
評論「水の東西」			二項を対比した展開に基づき、要旨を理解する。	
詩歌「木」 「その子二十」「こころの帆」			詩・短歌・俳句の修辞・表現を学び、鑑賞する。	
評論「世界中がハンバーガー」			評論の構成や筆者の主張をとらえる。	
評論「自分・この不思議な存在」			評論の構成や筆者の主張をとらえる。	
小説「一瞬を生きる」			作者の自意識を感じ取り、小説の読解方法を習得する。	
評論「ネットが崩す公私の境」			筆者の考えを整理し、自分の意見を持つ。	
表現 意見文を書く			意見文を書くことによって、ものの見方や考え方を広げる。	

シラバス（総合学科 国語総合（古文））

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
国語・国語総合（古文）	1年	2	改訂版 高等学校 国語総合 （第一学習社）	L T古文1（浜島書店） これならわかる古典文法（文英堂）
科目の概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・優れた古典作品を鑑賞し、現代にも通じるものの見方・考え方をとらえる。 ・古文読解のために、基礎的な文法力を定着させる。 			
単元・学習内容			到達度目標	
古文入門「児のそら寝」 「絵仏師良秀」			古文に慣れ親しみ、基本的な読み方を学ぶ。 用言の活用の種類・活用形などを理解する。	
「竹取物語」			登場人物の行動や心情を読み取る。	
「徒然草」			作者のものの考え方・感じ方を読み取る。 助動詞や助詞について理解を深める。	
「平家物語」			登場人物の行動や心情を読み取る。 敬語・音便について学ぶ。	
「土佐日記」			作者のものの考え方・感じ方を読み取る。 掛詞に含まれるユーモアなど、豊かな表現を味わう。	
和歌「万葉集」 「古今和歌集」 「新古今和歌集」			和歌の修辞法を踏まえつつ、込められた心情を把握する。	
「伊勢物語」			歌物語の特徴を理解する。 構成や展開に即して、内容を的確にとらえる。	
「奥の細道」			俳文の中心となる俳諧の役割を理解する。	

シラバス（総合学科 国語総合（漢文））

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
国語・国語総合（漢文）	1年	1	改訂版 高等学校 国語総合 （第一学習社）	アクト漢文（基本編）24 （桐原書店） 漢文学習必携 （京都書房）
科目の概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・優れた古典作品を鑑賞し、現代にも通じるものの見方・考え方をとらえる。 ・漢文読解のために、基礎的な語彙・句法の力を定着させる。 			
単元・学習内容			到達度目標	
漢文入門「格言・成句」			訓読や書き下し文のきまりを理解し、漢文の基本的な読み方を習得する。	
「故事」			基本的な句法を学び、故事成語の由来と意味を理解する。	
「十八史略」			漢文独特の表現に親しみ、句法に留意した現代語訳の仕方を学ぶ。	
「唐詩」			近体詩のきまりを学び、作者の心情を理解する。	
「論語」			文章を正確に読み取り、儒家思想の概略を理解する。	

シラバス（看護科 国語総合（古典））

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
国語・国語総合（古典）	1年	2	改訂版 高等学校 国語総合 （第一学習社）	LT古文1（浜島書店） これならわかる古典文法（文英堂）
科目の概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・優れた古典作品を鑑賞し、現代にも通じるものの見方・考え方をとらえる。 ・古文読解のために、基礎的な文法力を定着させる。 ・漢文読解のために、基礎的な語彙・句法の力を定着させる。 			
単元・学習内容		到達度目標		
古文入門「児のそら寝」 「絵仏師良秀」		古文に慣れ親しみ、基本的な読み方を習得する。 用言の活用の種類・活用形などを理解する。		
漢文入門「格言・成句」		訓読や書き下し文のきまりを理解し、漢文の基本的な読み方を習得する。		
「竹取物語」 「故事」		登場人物の行動や心情を読み取ることができる。 助動詞や助詞について理解を深める。 基本的な句法を学び、故事成語の由来と意味を理解する。		
「伊勢物語」		歌物語の特徴を理解する。 話の展開に即して、歌に込められた心情を理解する。		
「唐詩」		近体詩のきまりを学び、作者の心情を理解する。		
「徒然草」		作者のものの考え方・感じ方を読み取ることができる。		
「平家物語」		登場人物の行動や心情を読み取ることができる。 敬語・音便について理解する。		
「土佐日記」		作者のものの考え方・感じ方を読み取ることができる。 掛詞に含まれるユーモアなど、豊かな表現を味わう。		
和歌「万葉集」 「古今和歌集」 「新古今和歌集」		和歌の修辞法を踏まえつつ、込められた心情を把握する。		
「奥の細道」		俳文の中心となる俳諧の役割を理解する。		
「論語」		文章を正確に読み取り、儒家思想の概略を理解する。		

シラバス（総合学科・看護科 世界史 A）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地 歴 世界史 A	1 年 2 年	2	明解 新世界歴史 A 新訂版（帝国書院）	明解 世界史 A ノート（帝国書院） ダイアログ世界史図表（第一学習社）
科 目 の 概 要 と 目 標	近現代史を中心とする世界の歴史を、我が国の歴史と関連付けながら理解させ、人類の課題を多角的に考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。			
単元・学習内容			到達度目標	
諸地域世界の特質			風土、民族、宗教などに着目させながら、諸地域世界の特質を把握する。また、諸地域相互の交流に触れ、世界の一体化につながる交流圏の成立に気付く。	
一体化の始まりとヨーロッパの主権国家			大航海時代のヨーロッパとアフリカ、アメリカ、アジアとの接触・交流を扱い、16世紀の世界の一体化への動きを理解する。また、ヨーロッパの主権国家体制の成立、大西洋貿易の展開を扱い、17世紀及び18世紀の世界の特質を理解する。	
ヨーロッパ近代の確立			産業革命、フランス革命、アメリカ諸国の独立、自由主義と国民主義の進展、拡大する貿易活動を扱い、ヨーロッパ・アメリカにおける資本主義の確立と国民形成を理解する。	
アジア諸国の変貌と日本			アジア諸帝国内部で進行していた変化とヨーロッパの進出によって引き起こされた変貌をとらえながら、19世紀の世界の一体化とその特質を理解する。	
帝国主義時代			アジア諸国の植民地化や従属化の過程を扱い、社会や経済の変動、ヨーロッパ近代文化との接触に伴う伝統文化の変容を理解する。その際、アジア諸国の抵抗、近代化の動き、民族意識の形成については、社会変革へのアジアの主体的な動きに着目することができる。	
二つの世界大戦と平和			第一次世界大戦と第二次世界大戦の原因や総力戦としての性格、それらが及ぼした影響を理解し、平和の意義などについて考察し、理解を深める。	

シラバス（総合学科・看護科 日本史 A）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地歴・日本史 A	総合 2 年 看護 3 年	2	高等学校 改訂版日本史 A (人・くらし・未来) (第一学習社)	プロムナード日本史 (浜島書店)
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・近現代史を中心とする我が国の歴史の展開を世界史的視野に立ち、日本を取り巻く国際環境などと関連付けて考察させる。 ・歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。 ・身近な生活文化や地域社会の変化などにかかわる主題を設定し、探究する。 ・日本の近代から現代に至るまでの過程とそこに生きた人々の生き方や考え方について理解を深める 			
単元・学習内容			到達度目標	
歴史と生活 ・日本海から地域の変容 ・日本人の食事風景の移り変わり ・水運と鉄道にみる交通の変化 ・灯りが日本人に与えた影響とは 第 1 編 第 1 章 国際環境の変化と幕藩体制の動揺			身近な生活文化や地域社会の変化にかかわる主題を設定し、追究する学習を通して歴史への関心を高め多様な学習活動を通して歴史的な見方や考え方に対する関心や態度などを身に付ける。 和親条約や通商条約の内容をつかみ、日本の開国を世界の流れの中で理解する。	
第 2 章 明治維新と近代国家の形成			明治新政府の成り立ちと中央集権体制の整備によって統一国家の基礎ができたことを理解する。 新しい西洋文明の摂取がいかに行われたかを理解する。	
第 3 章 国際関係の推移と近代産業の成立			日清戦争の原因と性格、及び後世への影響などを理解する。 日本の産業革命がどのような背景で行われたかを考えさせ、その基本的特徴を理解する。	
第 2 編 第 1 章 国際関係の推移と近代産業の成立			日露戦争の原因と性格を帝国主義体制の中で考察し、理解を深める。	
第 2 章 第二次世界大戦をめぐる国際情勢と日本			高度経済成長の過程を通じて、経済構造や社会構造がどのように変化したかを理解する。 石油危機以後の国際情勢に注目させ、経済の変化について考えを深める。	
第 3 編 第 1 章 経済国家としての発展			日本の歴史を総覧して今後の日本のとるべき道について考え、理解を深める。	
第 2 章 経済の発展と国民生活			昭和初期の恐慌が日本を大陸へと進出させたことを理解する。 アジア・太平洋戦争開戦にいたる過程を日米交渉や対ソ政策と関連づけて理解する。	
第 3 章 現代の日本と世界			戦後の日本の復興の様子や経済の発展の過程を理解する。 朝鮮戦争の勃発が日本占領政策と講和のあり方にどのような影響を与えたかを理解する。	

シラバス（総合学科・看護科 地理 A）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地歴・地理 A	総合 2 年 看護 3 年	2	高等学校 地理 A 世界の暮らしを学ぶ (第一学習社) 新詳高等学校地図 初訂版(帝国書院)	新編地理資料 2008 (とうほう) 地理 A ノート問題集 (第一学習社)
科目の概要 と目標	現代世界のさまざまな問題を世界的な広がりの中で考えさせるとともに、世界各地の生活や文化を理解させる。			
単元・学習内容			到達度目標	
第 1 編 地理情報の活用と 現代世界の特色 1 章 球面上の世界と地図	さまざまな地図が工夫され、いろんな利用がされていることを理解する。 読図や統計地図の作成を通じて、地図の有効性を理解する。			
2 章 グローバル化する現代 世界 交通・通信	世界の人や物を結ぶ交通と、情報を結ぶ通信の現状を理解し、課題を把握する。			
第 2 編 世界の諸地域の地域性 1 章 世界的視野から見た生 活・文化と環境	世界の地形や気候などの自然環境や、国家、民族などの文化環境について概観する。			
2 章 世界の諸地域の生活・文 化と環境 — 事例 東南アジア 南アジア アフリカ	世界各地の生活、文化を、地理的環境や民族性と関連づけて追求させ、異文化を理解し尊重することが必要であることを理解する。			
ヨーロッパ 北アメリカ 中南アメリカ オセアニア	世界各地の生活、文化を、地理的環境や民族性と関連づけて追求させ、異文化を理解し尊重することが必要であることを理解する。			
3 章 近隣諸国の生活・文化と 日本との関係 中国 韓国 ロシア	近隣諸国の生活、文化の特色や日本との関連を考察し、近隣諸国の生活や文化を理解し尊重することが必要であることを理解する。			
第 3 編 現代世界の地球的課題 1 章 さまざまな課題—事例 人口問題 食糧問題	現代のさまざまな地球的課題の現状を理解させ、それらの解決に国際的な取り組みが必要であることを理解する。			
居住・都市問題 資源・エネルギー問題 地球環境問題	現代のさまざまな地球的課題の現状を理解させ、それらの解決に国際的な取り組みが必要であることを理解する。			

シラバス（総合学科 世界史 B）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地歴 ・世界史 B	2年	3	詳説世界史 B 改訂版（山川出版社）	最新世界史図説タペストリー（帝国書院） 詳説世界史テストチェック25（山川出版社）
科目の概要と目標	世界の歴史の大きな枠組みと流れを、我が国の歴史と関連づけながら理解させ、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。			
単元・学習内容			到達度目標	
第1章 オリエントと地中海世界	西アジア・地中海世界の風土、オリエント文明の盛衰、イラン人の活動、エーゲ文明、ギリシア・ローマ文明に触れ、西アジア・地中海世界の特質を把握する。			
第2章 アジア・アメリカの古代文明	南アジアの風土、インダス文明、アーリア人の侵入後の文化、社会、国家の発展に触れ、南アジア世界の形成過程を把握する。			
第3章 東アジア世界の形成と発展	東アジア・内陸アジアの風土に触れ、中華文明の起源と秦・漢帝国、遊牧国家の動向、唐帝国と東アジア諸民族の活動に触れ、日本を含む東アジア世界と内陸アジア世界の形成過程を把握する。			
第4章 内陸アジア世界の変遷	遊牧国家の動向、唐帝国と東アジア諸民族の活動に触れ、日本を含む東アジア世界と内陸アジア世界の形成過程を把握する。			
第5章 イスラーム世界の形成と発展	アラブ人とイスラーム帝国の発展、トルコ系民族の活動、アフリカ・南アジアのイスラーム化に触れ、イスラーム世界の形成、拡大の過程を把握する。			
第6章 ヨーロッパ世界の形成と発展 第7章 諸地域世界の交流	ビザンツ帝国と東ヨーロッパの展開、西ヨーロッパの封建社会、都市の発達と王権の伸長に触れ、キリスト教とヨーロッパ世界の形成、変動の過程を把握する。 ユーラシアの内陸及び海域のネットワークを背景に、諸地域世界の交流が一段と活発になり、新たな地域世界の形成や再編を促したことを把握する。			
第8章 アジア諸地域の繁栄	明・清帝国と朝鮮や日本との関係、東南アジア海域世界とイスラーム世界の動向を扱い、16世紀から18世紀にかけてのアジア諸地域世界の特質を理解する。			

シラバス (総合学科 世界史 B)

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地歴 ・世界史 B	3年	2	詳説 世界史B 改訂版 (山川出版社)	明解世界史図説エスカリエ (帝国書院) 詳説 世界史スタンダードテスト B (山川出版社)
科目の概要と目標	世界の歴史の大きな枠組みと流れを、我が国の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性と現代世界の特徴を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。			
単元・学習内容		到達度目標		
ヨーロッパ世界の形成と発展		ビザンツ帝国と東ヨーロッパの展開、西ヨーロッパの封建社会、都市の発達と王権の伸張に触れ、キリスト教とヨーロッパ世界の形成・変動の過程を把握する。		
ヨーロッパ主権国家体制の形成		15世紀末から17世紀前半に、ヨーロッパの国々が独立した主権国家として互いに対立と妥協を繰り返しながら、国際秩序を形成していった過程を理解する。		
ヨーロッパ主権国家体制の展開		17・18世紀のヨーロッパ世界の特徴とアメリカ・アフリカとの関係を理解する。		
欧米における近代国民国家の発展		18世紀後半から19世紀にかけてのヨーロッパ・アメリカの経済的、政治的変革を扱い、産業社会と国民国家の形成を理解する。		
帝国主義		19世紀後半から第一次世界大戦までの世界の動向を理解する。		
二つの世界大戦		二つの大戦と総力戦、ロシア革命とソヴィエト連邦の成立、大衆社会の出現と全体主義、世界恐慌と資本主義の変容、アジアの民族運動などを扱い、20世紀前半の世界の動向と社会の特徴を理解する。		
冷戦とアジア・アフリカ世界の自立 現代の世界		第二次世界大戦後の世界の動向を理解する。		

シラバス（総合学科 日本史B）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地歴・日本史B	2年	3	日本史B (実教出版)	日本史のライブラリー（とうほう） 日本史重要史料集（浜島書店）
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・近世までの日本の歴史を、世界史的視野に立って総合的に考察させ、我が国の社会・文化・伝統の特色について理解させる。 ・歴史的考察力を培い、基礎的な歴史認識を身につける。 ・時代区分では、旧石器時代～幕藩体制の成立までを扱う。 			
単元・学習内容	到達度目標			
第1章旧石器時代～縄文時代 第2章弥生時代～邪馬台国 第3章推古朝と飛鳥文化 第4章摂関政治と国風文化 院政と平氏政権	<p>先史時代から縄文時代にいたる原日本人の形成までを理解する。 東アジアの政治的変動を背景に、新しい文化・社会が成立したことを理解する。 古代国家の成立過程を大陸との交渉とともに理解する。 東アジアの激動に大和政権がどのように対処したかを理解する。 律令体制の変容と日本化の過程を理解する。</p>			
第5章鎌倉幕府の成立と展開 鎌倉時代の社会と文化 第6章南北朝の動乱 惣村の発展～応仁の乱 室町文化 第7章ヨーロッパ人の来航 戦国大名の領国経営 織豊政権 桃山文化	<p>武家政権成立の過程と意義を理解する。 中世社会の変容を理解する。 室町時代の文化の特質を理解する。 中世社会の特質と支配体制の変化を理解する。 中世の文化の特質を理解する。 世界史的背景と共に来航の影響を理解する。 戦国大名の地方支配の実態を理解する。 近世の統一への過程を理解する。 南蛮文化の伝来の背景と具体的内容を理解する。</p>			
第8章幕藩体制の成立 鎖国の成立 第9章幕府政治の展開 経済の発達 元禄文化	<p>江戸幕府の成立の背景と組織の特徴について理解する。 鎖国にいたるまでの日本外交の歩みと鎖国の影響を理解する。 幕藩体制を支える農民の生活と幕府の統制について理解する。 武断政治から文治政治への転換とその内容について理解する。 元禄文化の特色とその担い手を社会の発達と関連させて理解する。</p>			

シラバス（総合学科 日本史B）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地歴・日本史 B	3 学年	2 単位	日本史B (実教出版)	最新日本史図表（第一学習社）
科目の概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・近世から現代に至る日本の歩みをさまざまな角度から見つめ、考察する。 ・近現代史を中心とする我が国の歴史の展開を世界史的視野に立ち、日本を取り巻く国際環境などに関連付けて考察する。 ・歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。 			
単元・学習内容		到達度目標		
幕政改革 ヨーロッパ列強の接近と 天保の改革 化政文化		封建社会が衰退していった様子を理解する。 産業革命以降、西欧列強がアジアに進出してきた様子と鎖国体制が動揺してゆく様子を理解する。 文化文政時代が江戸を中心に爛熟した文化であった事を理解する。		
第 9 章 欧米のアジア侵略と開国 明治維新と国家統一 文明開化 自由民権運動の展開		和親条約や通商条約の内容をつかみ、日本の開国を世界の流れの中で理解する。 明治新政府の成り立ちと中央集権体制の整備によって統一国家の基礎ができたことを理解する。 自由民権運動の流れと展開を理解する。		
第 10 章 近代国家の形成 日清・日露戦争と近代文化 の展開		大日本帝国憲法の制定とその後の政治について理解する。 条約改正の意義と過程を理解する。 日清・日露戦争の背景や結果を調べ、日本の国際的立場の変化を理解する。		
第 11 章 2つの大戦間の日本と市民文化 政党政治と市民文化		ヨーロッパの大戦が日本に与えた影響とその後の世界情勢について理解する。 政党政治成立の背景と労働者文学やジャーナリズムの発達などの大正文化の様子を理解する。		
第 12 章 15年戦争と日本		太平洋戦争へ突き進む日本の様子を様々な角度から見つめ、戦時下の国民生活について理解する。		
第 13 章 新しい日本と新しい文化		戦後日本の復興の様子や経済大国へと成長してゆく日本の様子や国際社会へ復帰し、東西冷戦の中で日本が国際的立場が高まっていく様子について理解する。		

シラバス (総合学科 地理 B)

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史・ 地理 B	2年	3	新詳地理B初訂版(帝国書院) 新詳高等地図初訂版(帝国書院)	新詳地理資料 2010 (帝国書院)
科目の概要 と目標	現代世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。			
単元	学習内容	到達度目標		
自然環境と 生活	生活の舞台としての 地形 世界の地形環境	<ul style="list-style-type: none"> 大地形や各種の地形の基本的な内容について系統地理的な視点や方法で理解する。 地形の地域的な差違や類似性を、分布やまとまりなどを通して理解し、人間生活との関係について理解する。 地図や写真を活用し、理解したことを地図や写真を使って指摘・表現できるようになる。 人間の生活は気候に大きな影響を受けていることを理解する。 		
	気候と生活	<ul style="list-style-type: none"> 世界の気候について、ケッペンの気候区分を踏まえ、系統地理的な視点や方法で理解する。 		
	世界の気候	<ul style="list-style-type: none"> 気候の地域的な差違や類似性を、分布やまとまりなどを通して理解し、人間生活との関係について理解する。 植生・土壌の基本的な内容について、気候との関連性を踏まえ、系統地理的な視点や方法で理解する。 		
	日本の自然	<ul style="list-style-type: none"> 日本の自然と特徴を、系統地理的な視点や方法で理解する。 日本に被害をもたらしてきた自然災害の原因について把握する。 		
資源と産業	産業の発達と変化 ・世界の農業 ・世界の農業地域区分 ・現代世界の農業の現状と課題 ・世界のなかの日本の農業	<ul style="list-style-type: none"> 世界の農業について、自然や社会条件の違いに着目し多様性や類似性について、系統地理的な視点や方法で理解し、それらの形態や分布の特徴について把握する。 世界の農業がグローバル化する中で、どのような課題を抱えているのかを把握する。 日本の農業を特徴と背景を考察するとともに、グローバル化する世界の中で、日本の農業の抱える課題について把握する。 		
	資源の生産と消費	<ul style="list-style-type: none"> 世界各地のエネルギーや鉱産物生産の現状について理解し、エネルギー問題などの国際的な問題について把握する。 		
	工業製品の生産と流通 ・工業の発達と立地 ・世界の工業地域 ・日本の工業	<ul style="list-style-type: none"> 工業の立地条件とその要因の変化による変遷について、地図や資料を分析する作業を通して理解する。 世界の工業地域のいくつかを比較し、課題を設定してその類似性等を比較考察し、把握する。 日本の工業が、世界の工業の動きの中で、どのように変化してきたか、またどのような課題を抱えているかを理解する。 		

シラバス (総合学科 地理 B)

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史・ 地理 B	3年	2	新詳地理 B 初訂版(帝国書院) 新詳高等学校地図初訂版 (帝国書院)	新詳地理資料 2009 (帝国書院)
科目の概要 と目標	現代世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。			
単元	学習内容	到達度目標		
資源と産業	資源の生産と消費	<ul style="list-style-type: none"> 世界各地のエネルギーや鉱産物生産の現状について理解し、エネルギー問題などの国際的な問題について考察し、把握する。 		
	工業製品の生産と流通 ・工業の発達と立地 ・世界の工業地域 ・日本の工業	<ul style="list-style-type: none"> 工業の立地条件とその要因の変化による変遷について、地図や資料を分析する作業を通して理解する。 世界の工業地域のいくつかを比較し、課題を設定してその類似性等を比較考察し、理解する。 日本の工業が、世界の工業の動きの中で、どのように変化してきたか、またどのような課題を抱えているかを考察し、理解する。 		
地球的課題	人口・食糧問題	<ul style="list-style-type: none"> 人口・食糧問題を世界的な視野から地域性を踏まえ追究し、それらが地球的課題であることや地域によって現れ方が異なることを理解する。 それらの解決には地域性を踏まえた国際協力が必要であることを考察し、理解する。 		
	都市・居住問題	<ul style="list-style-type: none"> 都市・居住問題を世界的な視野から地域性を踏まえ追究し、それらの問題の現れ方には地域による特殊性や地域を越えた類似性がみられることを理解する。 それらの解決には地域性を踏まえた国際協力が効果的であることを考察し、理解する。 		
	環境・エネルギー問題	<ul style="list-style-type: none"> 環境・エネルギー問題を世界的な視野から地域性を踏まえ追究し、それらが地球的課題であることや地域によって現れ方が異なることを理解する。 それらの解決には地域性を踏まえた国際協力が必要であることを考察し、理解する。 		
	民族・領土問題	<ul style="list-style-type: none"> 民族・領土問題を世界的な視野から地域性を踏まえ追究し、それらの問題の現れ方には地域による特殊性や地域を越えた類似性がみられることを理解する。 それらの解決には地域性を踏まえた国際協力が効果的であることを考察し、理解する。 		
世界の諸地域	市町村規模の地域の調査	<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域を題材に地形図の見方や野外観察の方法や視点などの技能を身につける。 		
	国家規模の地域調査	<ul style="list-style-type: none"> 国家規模の地域を地誌的にとらえる視点や方法を身につける。 		
	州・大陸規模の地域調査	<ul style="list-style-type: none"> 州・大陸規模の地域を地誌的にとらえる視点を身につける。 		
課題研究		<ul style="list-style-type: none"> 各自が設定した課題について地域性を踏まえて、発展的な視点から考察し、理解する。 		

シラバス (看護科 現代社会)

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
公民・現代社会	1年	2	高等学校 改訂版 現代社会 (第一学習社)	最新図説現社 (浜島書店)
科目の概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の諸問題を理解する。 ・諸問題の解決のために、自分に何が出来るのかを考え、そして、多くの取り組みが出来る公民的資質を養う。 			
単元・学習内容			到達度目標	
現代の経済社会と私たちの生活			市場経済の仕組みを理解する。 金融機関の働きを理解する。	
現代の経済社会と私たちの生活			政府の経済的役割と租税の意義を理解する。	
国際経済の動向と日本の役割			世界の経済体制の動向を理解する。	
現代の民主政治と私たちの生活			日本国憲法の基本原理を理解する。	
現代の民主政治と私たちの生活			基本的人権を理解する。	
現代の民主政治と私たちの生活			内閣と行政の民主化を理解する。	
私たちの生活と宗教や芸術			芸術 (音楽) の役割について理解する。	
科学技術の発達と一人一人の生命 豊かな生活と福祉社会			科学技術時代の課題を理解する。 日本の社会保障制度の特徴を理解する。	
現代社会の特質と社会生活の変化 現代に生きる青年			大衆社会の特徴を理解する。 青年期の心理の特徴を理解する。	

シラバス（看護科 倫理） 平成19年度・20年度入学生

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
公民・倫理	1年	2	倫理（東京書籍）	資料新総合倫理（東京書籍） 倫理ワークノート
科目の概要と目標	現代社会を生きていくにあたって、人類の歴史上に現れた洋の東西の思想の学習を通して、より良く生きていくことの大切さを学び、倫理的思考能力の資質を養う。			
単元・学習内容			到達度目標	
青年期の課題と自己形成			最近のニュース（1学期）で倫理的問題を把握する。人間性の特徴を最近の脳科学の発達から理解する。青年期の特徴を理解し、自己形成について考えることができる。	
思想の源流 ギリシャ思想 中国思想			西洋思想の源流となっている、ソクラテス、プラトン、アリストテレスの考え方を理解する。 東洋思想の源流となっている儒家思想、老荘思想について理解する。	
キリスト教思想 仏教思想			西洋思想のもう1つの源流となっているイエス・キリストの愛の思想を理解する。 東洋思想のもう1つの源流となっている仏教の慈悲の思想を理解する。	
イスラム思想			イスラム世界の思想の源となっているイスラム教を理解する。	
現代の人間の倫理 ルネサンスと宗教改革 科学的思考方法			最近のニュース（2学期）で倫理的問題を把握する。近代西洋の人間尊重の考え方の基となったルネサンスと宗教改革について理解する。 近代的な科学的思考方法の基となっているベーコンの帰納法とデカルトの演繹法を理解する。	
カントとヘーゲル 社会契約説			近代の人間尊重を徹底したカントの道徳法則とヘーゲルの人倫を理解する。 近代国家において社会契約説の果たした役割について考え、理解する。	
社会主義とプラグマティズム			現代の、資本主義の発展にともなう社会主義思想の出現と、プラグマティズムについて理解する。	
実存主義など現代の思想			現代の人間疎外の状況の中で、自由で主体的な生き方を求める実存主義など、現代思想を理解する。	
日本の近代思想			最近のニュース（3学期）で倫理的問題を把握する。西洋の近代思想を取り入れ、日本の伝統と総合した日本の思想状況を理解する。 戦後の日本の社会と思想状況を理解する。	
現代の倫理的課題			生命倫理、環境倫理、家族のあり方、情報倫理など、現代の倫理的課題を考え、理解する。	

シラバス（総合学科・看護科 政治経済）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
公民・政治経済	3年	2	高校政治・経済 (実教出版)	最新図説政経（看護） 最新図説現社（総合）
科目の概要 と目標	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深め、現代における政治・経済、国際関係などについて理解する。 授業で学んだ内容を実生活に生かし、より良い大人として生きる態度を育てる。			
単元・学習内容		到達度目標		
民主政治の基本原理		民主政治の諸制度を理解する。 世界の政治体制を理解する。 平和主義の理念を理解する。		
日本の政治機構		国会の持つ権限を理解する。 内閣の構成を理解する。		
現代日本の政治		各時代の日本の政治の特徴を理解する。 選挙制度を理解する。 行政権の優位の問題を理解する。		
現代経済の仕組み		市場機構を理解する。 金融の仕組みを理解する。 財政の仕組みを理解する。		
現代経済と福祉の向上		今日の日本経済が抱える課題を理解する。 中小企業・農業の抱える問題を理解する。 公害発生原因を理解する。		
世界経済と日本		国際取引の内容を理解する。 世界経済の変化を理解する。 発展途上国の抱える課題を理解する。		

シラバス（総合学科 倫理）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
公民・倫理	3年	2	高校 倫理 (実教出版)	最新 倫理資料集 (第一学習社)
科目の概要 と目標	現代社会を生きていくにあたって、人類の歴史上に現れた洋の東西の思想の学習を通して、より良く生きていくことの大切さを学び、倫理的思考能力の資質を養う。			
単元・学習内容		到達度目標		
青年期の課題と自己形成		最近のニュース（1学期）で倫理的問題を把握する。 人間性の特質を最近の脳科学の発達から理解する。 青年期の特徴を理解し、自己形成について考えを深める。		
思想の源流 ギリシャ思想 中国思想		西洋思想の源流となっている、ソクラテス、プラトン、アリストテレスの考え方を理解する。 東洋思想の源流となっている儒家思想、老荘思想について理解する。		
キリスト教思想 仏教思想		西洋思想のもう1つの源流となっているイエス・キリストの愛の思想を理解する。 東洋思想のもう1つの源流となっている仏教の慈悲の思想を理解する。		
イスラム思想		イスラム世界の思想の源となっているイスラム教を理解する。		
現代の人間の倫理 ルネサンスと宗教改革 科学的思考方法		最近のニュース（2学期）で倫理的問題を把握する。 近代西洋の人間尊重の考え方の基となったルネサンスと宗教改革について理解する。 近代的な科学的思考方法の基となっているベーコンの帰納法とデカルトの演繹法を理解する。		
カントとヘーゲル 社会契約説		近代の人間尊重を徹底したカントの道德法則とヘーゲルの人倫について理解する。 近代国家において社会契約説の果たした役割について考えを深める。		
社会主義とプラグマティズム		現代の資本主義の発展にともなう社会主義思想の出現と、プラグマティズムについて理解する。		
実存主義など現代の思想		現代の人間疎外の状況の中で、自由で主体的な生き方を求める実存主義など、現代思想を理解する。		
日本の近代思想		最近のニュース（3学期）で倫理的問題を把握する。 西洋の近代思想を取り入れ、日本の伝統と総合した日本の思想状況を理解する。 戦後の日本の社会と思想状況を理解する。		
現代の倫理的課題		生命倫理、環境倫理、家族のあり方、情報倫理など、現代の倫理的課題を考え、理解を深める。		

シラバス (総合学科 数学 I)

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
数学・数学 I	1 年	3	高等学校 新編数学 I (第一学習社)	フィット数学 I + A (第一学習社) ニューアクション β I + A (東京書籍)
科目の概要 と目標	方程式と不等式、2 次関数および図形と計量について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識させる。			
単元	学習内容	到達度目標		
数と式	式の展開と因数分解 実数	文字を含む式の表し方や見方を理解する。 公式の導き方や適用の仕方を理解する。 数を実数まで拡張することの意義を理解する。		
方程式と 不等式	1 次不等式 2 次方程式	1 次不等式および 2 次方程式についての理解を深め、 それらが活用できる。		
2 次関数	2 次関数とそのグラフ 2 次関数の値の変化	関数を用いて数量の変化を表現することの有用性を認識する。 平方完成やグラフの平行移動に着目することにより、 いろいろな二次関数のグラフがかけられる。 二次関数のグラフを利用することにより、基本的な最大最小問題を解くことができる。 与えられた条件から 2 次関数を決定することができる。 グラフを利用して 2 次不等式を解くことができる。		
図形と計量	三角比 図形の計量	直角三角形における三角比の意味を理解する。 鈍角まで拡張された三角比の基本的な性質について理解する。 正弦定理、余弦定理の図形的な意味を理解し、それらを利用して、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 三角比の考えを具体的な事象の考察に活用できる。		

シラバス (看護科 数学 I)

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
数学・数学 I	1 年	4	高等学校 新編数学 I (第一学習社)	フィット数学 I + A (第一学習社) ニューアクション β I + A (東京書籍)
科目の概要 と目標	方程式と不等式、2 次関数および図形と計量について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識させる。			
単元	学習内容	到達度目標		
数と式	式の展開と因数分解 実数	文字を含む式の表し方や見方を理解する。 公式の導き方や適用の仕方を理解する。 数を実数まで拡張することの意義を理解する。		
方程式と 不等式	1 次不等式 2 次方程式	1 次不等式および 2 次方程式についての理解を深め、それらが活用できる。		
2 次関数	2 次関数とそのグラフ 2 次関数の値の変化	関数を用いて数量の変化を表現することの有用性を認識する。 平方完成やグラフの平行移動に着目することにより、いろいろな二次関数のグラフがかけられる。 二次関数のグラフを利用することにより、基本的な最大最小問題を解くことができる。 与えられた条件から 2 次関数を決定することができる。 グラフを利用して 2 次不等式を解くことができる。		
図形と計量	三角比 図形の計量	直角三角形における三角比の意味を理解する。 鈍角まで拡張された三角比の基本的な性質について理解する。 正弦定理、余弦定理の図形的な意味を理解し、それらを利用して、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 三角比の考えを具体的な事象の考察に活用できる。		

シラバス (総合学科 理科総合 A)

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
理科・理科総合A	1年	2	新版理科総合A (実教出版)	アクセス理科総合A 化学編 (実教出版)
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象についての観察や実験を通して身の回りの物質やエネルギーについて理解することができる。 ・身の回りの物質は原子・分子・イオンから成り立ち、それらの結合の変化で物質の性質が変わり、エネルギーの出入りがあることを理解する。 ・身近な運動やエネルギーの法則について理解し、自然の事物・現象をエネルギーの考え方でとらえる。 			
単元	学習内容	到達度目標		
物質の構成 粒子	物質の探求 原子・イオン・分子 物質の量と化学反応式	<p>単体と化合物、原子と分子を区別できるようになる。</p> <p>原子の構造を理解する。</p> <p>元素の周期律を電子配置と関連して理解する。</p> <p>イオンの構造を理解する。</p> <p>分子と化学結合の関係を理解する。</p> <p>化学反応式を作成でき、反応の前後でどのような物質が作られるか理解する。</p>		
物質の変化	化学反応と熱 酸と塩基 酸化還元反応	<p>化学反応には熱の出入りがあることを理解する。</p> <p>酸と塩基、pH、中和反応について理解する。</p> <p>酸化、還元を電子の移動として理解する。</p> <p>電池は酸化還元反応であることを理解し、実際の電池についてしくみを理解する。</p>		
物質の利用	物質の利用	身の回りの物質について理解を深める。		
力と運動	運動 力 運動の法則	<p>速さ、速度、等速直線運動、加速度運動、落体の運動について理解する。</p> <p>運動の法則について理解する。</p>		
エネルギー	仕事とエネルギー 熱とエネルギー 電流とエネルギー エネルギーの変換と保存	<p>エネルギーとは何かを理解し、いろいろなエネルギーについて理解する。</p> <p>熱とエネルギー、温度の関係について理解する。</p> <p>エネルギーの変換と保存について理解する。</p>		
資源の開発と利用	資源の開発と利用	資源、物質について理解する。		

シラバス（看護科 理科総合 A）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
理科・理科総合A	1年	2	改訂理科総合A (第一学習社)	アクセス理科総合A 化学編 (実教出版)
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象についての観察や実験を通して身の回りの物質やエネルギーについて理解することができる。 ・身の回りの物質は原子・分子・イオンから成り立ち、それらの結合の変化で物質の性質が変わり、エネルギーの出入りがあることを理解する。 ・身近な運動やエネルギーの法則について理解し、自然の事物・現象をエネルギーの考え方でとらえる。 			
単元	学習内容	到達度目標		
物質と人間生活	物質の構成 物質の変化	<p>単体と化合物、原子と分子を区別できるようにする。 原子の構造を理解する。 元素の周期律を電子配置と関連して理解する。 イオンの構造を理解する。 分子と化学結合の関係を理解する。 化学反応式を作成でき、反応の前後でどのような物質が作られるか理解する。 化学反応には熱の出入りがあることを理解する。 酸と塩基、pH、中和反応について理解する。 酸化、還元を電子の移動として理解する。 電池は酸化還元反応であることを理解し、実際の電池についてしくみを理解する。</p>		
物質の利用	物質の利用	身の回りの物質について理解を深める。		
エネルギー・資源と人間生活	仕事と力学的エネルギー エネルギーの変換	<p>速さ、速度、等速直線運動、加速度運動、落体の運動について理解する。 運動の法則について理解する。 エネルギーとは何かを理解し、いろいろなエネルギーについて理解する。 熱とエネルギー、温度の関係について理解する。 エネルギーの変換と保存について理解する。</p>		
科学技術の進歩と人間生活	科学技術の進歩と人間生活	資源、物質について理解する。		

シラバス（総合学科 物理 I）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
理科・物理 I	2年	3	高等学校物理 I 改訂版（啓林館）	センサー物理 I + II（啓林館）
科目の概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活にもっとも密接な電気について理解し、電気によっておこるさまざまな現象とそのしくみを理解する。 力が物体に及ぼす影響と運動との関係を理解し、自然界に存在するあらゆる物体の運動が基本的な原理・法則に基づいていることを理解できるようにする。また、仕事とエネルギーからさまざまなエネルギーが相互に変換されるしくみを学習し理解する。 波の基本的な性質を学び、反射・屈折・回折現象の法則性を理解する。身近な音や光に関し学習し理解する。 			
単元	学習内容	到達度目標		
運動と力	<p>物体の運動</p> <p>力と運動</p>	<p>移動距離と時間の関係から時間と距離の関係を理解する。</p> <p>速さと速度の違いについて理解する。</p> <p>速度の合成、分解、相対速度について理解する。</p> <p>自由落下運動を始め、落体の運動が等加速度運動であることを理解する。</p> <p>バネの力や、力の合成や分解について理解する。</p> <p>力が、加速度および質量とどのような関係にあるか理解する。</p> <p>モーメントや偶力について理解する。</p>		
エネルギー	<p>仕事とエネルギー</p> <p>熱とエネルギー</p>	<p>エネルギーと仕事の関係を理解する。</p> <p>力学的エネルギーを理解し、エネルギーの変換に際しエネルギーが保存されることを理解する。</p> <p>熱量の保存について理解する。</p> <p>電気の熱作用や電力と電力量について理解する。</p> <p>エネルギーの変換から熱力学や熱機関について理解する。</p>		
生活と電気	<p>電気と生活</p> <p>電気の正体</p> <p>静電気</p> <p>電流</p> <p>モーター・発電機</p> <p>交流と電磁波</p>	<p>日常生活の中にある電気を例にとり、電気を実験的に理解する。</p> <p>電気の流れが電子の移動であることから電気の正体を理解する。</p> <p>静電気から電気の量や電荷の概念を理解する。</p> <p>電流のはたらきおよび磁石との関係を理解する。</p> <p>電磁誘導から交流と電波の発生を理解する。</p>		
波	<p>波動</p> <p>音</p> <p>光</p>	<p>波の基本法則である反射や屈折の法則を理解する。</p> <p>音が縦波であり、空気の振動が伝わっていく現象であることを理解する。</p> <p>音の特徴的なこととしてドップラー効果とその応用を理解する。</p> <p>光が波であると同時に媒質のない真空中も伝わることを理解する。</p> <p>光の直進性や反射屈折について理解する。</p> <p>レンズの構造と働きを理解する。</p> <p>光の回折と干渉から身の回りに起こる光の現象を理解する。</p>		

シラバス (総合学科 化学 I)

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
理科・化学 I	2年	3	化学 I 新訂版 (実教出版)	セミナー化学 I+II (第一学習社)
科目の概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 化学的な方法で自然の事物・現象についての観察、実験などを行い、化学的に考察する能力と態度を身につけるとともに、基本的な概念や原理・法則を理解する。 ・ 酸化・還元反応が電子の移動による反応であることを理解する。身近にある無機物質・有機化合物について性質・反応を理解する 			
単元	学習内容	到達度目標		
物質の変化	酸化還元反応	電気分解は電気エネルギーによる酸化還元反応であることを理解する。 ファラデーの電気分解の法則を理解する。		
無機物質	周期表と元素の性質 非金属元素の単体と化合物 金属元素の単体と化合物	周期表と元素の性質を理解する。 水素の単体と化合物、希ガスの性質について理解する。 各非金属元素の単体と化合物の性質、反応について理解する。 化学工業との関連にもふれながら、各元素の特徴ある反応について理解する。 アルカリ金属、アルカリ土類金属の特徴、性質、反応について理解する。 アルミニウム、亜鉛、スズ、鉛の単体、化合物の性質、反応について理解する。 遷移元素の性質、反応、特徴について理解する。 金属イオンの定性分析について理解する。		
有機化合物	有機化合物の特徴と構造 炭化水素 酸素を含む有機化合物 芳香族化合物	有機化合物の特徴について理解する。 炭化水素の構造の違い、官能基による分類について理解する。 炭化水素は構造式や示式で表される、異性体について理解する。 飽和炭化水素、不飽和炭化水素の構造、性質、特徴について理解する。 アルコール、エーテル、アルデヒド、ケトン、カルボン酸、エステル、油脂についての構造、性質、反応について理解する。 芳香族炭化水素の構造、製法、性質について理解する。 置換反応、付加反応、酸化反応などの反応性について理解する。 フェノール、芳香族アルデヒド、ケトン、カルボン酸、芳香族ニトロ化合物、アミンの構造、製法、性質について理解する。		

シラバス（総合学科 生物 I）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
理科・生物 I	2年	3	高等学校 改訂生物 I (第一学習社)	ニューステージ新訂 生物図表 (浜島書店)
科目の概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> 生物や生物現象についての観察，実験などを行い，自然に対する関心や探究心を高め，生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに，基本的な概念や原理・法則を理解させ，科学的な自然観を育てる。 細胞，生殖と発生および遺伝について探究し，生物体の成り立ちと種の維持のしくみについて理解させ，生命の連続性についての見方や考え方を身に付けさせる。 			
単元	学習内容	到達度目標		
細胞	核の働きと構造 細胞質の働きと構造 細胞の働きと酵素 細胞膜とその性質	細胞説を理解する。 細胞小器官の構造と機能について理解する。 植物細胞と動物細胞の浸透現象について理解し，選択的透過性，受動輸送，能動輸送について学習し，理解を深める。		
生殖と発生	生殖の方法 減数分裂 配偶子形成と受精 植物の生殖と発生 動物の発生	無性生殖と有性生殖の違いや有性生殖の意義について学習したのち，減数分裂の過程について理解する。 動物の配偶子形成や被子植物の配偶子形成と重複受精について理解する。 胚葉の分化と器官の形成について理解する。 発生運命の決定時期について理解する。		
遺伝	メンデルの法則 いろいろな遺伝 遺伝と染色体 性染色体と遺伝子 連鎖と組換え 遺伝子の本体	メンデルの実験を通して，一遺伝子雑種，染色体説，二遺伝子雑種，検定交雑，優性・分離・独立の法則について理解する。 遺伝子の連鎖，遺伝子の組換えが起こるしくみ，染色体地図の作り方について理解する。 遺伝子の本体がDNAであることが明らかになった過程を理解する。		
環境と動物 の反応	刺激の受容と感覚 いろいろな受容器 ニューロン 興奮と伝わり方	代表的な受容器の構造と働きについて理解する。 ニューロンの構造，シナプス，興奮の伝導のしくみ，興奮の伝達について理解する。 代表的な効果器の構造と働きを理解する。 かぎ刺激について理解する。		
環境と植物 の反応	植物と環境要因 光合成と環境要因 成長の調節 花芽形成の調節 種子の発芽の調節 植物のホルモン	光合成速度と光の強さ，二酸化炭素濃度，温度との関係を理解する。 屈性と傾性について学習したのち，光屈性の研究とオーキシンが発見される経緯，オーキシンの働きについて理解する。		

シラバス（総合学科 地学Ⅰ）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
理科・地学Ⅰ	2年	3	高等学校地学Ⅰ 改訂版（啓林館）	センサー地学Ⅰ＋Ⅱ（啓林館）
科目の概要 と目標	博物学的な発想を大切にしながら、現代科学としての地球科学を修得する。 過去から未来にかけての時間と、原子レベルから宇宙の果てまでの、長大な 視点でものを見ることができる。			
単元	学習内容		到達度目標	
地球の構成	1 地球の概観 (ア) 太陽系の中の地球 (イ) 地球の形状と活動 2 地球の内部 (ア) 地球の内部構造と 構成物質 (イ) 火山と地震 3 地球の歴史 (ア) 野外観察と地形・地質 (イ) 地層の形成と地殻変動 (ウ) 化石と地質時代		惑星の特徴をつかむ。 地球の形と大きさを理解する。 地球の内部構造を理解する。 プレートの特徴を理解する。 地震波の特徴を理解する。 マグマと噴火形式を理解する。 火成岩の分類法を理解する。 地表の変化を理解する。 プレートと地層の関係を理解する。 生命進化と化石の分類ができる。 年代決定について理解する。 総合的な地質編年を理解する。	
大気・海洋	大気と海洋 (ア) 大気の熱収支と 大気の運動 (イ) 海水の運動		層状構造の決定法を理解する。 熱の移動＝大気の移動を理解する。 水の状態変化と気象・気候の関係を理解する。 気候に対する海洋の影響を理解する。	
宇宙の構成	宇宙の構成 (ア) 太陽の形状と活動 (イ) 恒星の性質と進化 (ウ) 銀河系と宇宙		惑星の運動について理解する。 太陽の活動を理解する。 厚生の光から星の条件を知る。 HR図について理解する。 銀河の構造と進化を理解する。	

シラバス（総合学科・看護科 体育）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
保健体育・体育	1年 (男子)	2	新保健体育 改訂版 (大修館書店)	アクティブ・スポーツ2010 (大修館)
科目の概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・集合、整列等集団行動を正しく機敏に行うことができるようにする。 ・各スポーツの基礎運動を理解するとともに、身に付くようにする。 ・各スポーツのルールを理解しゲームを展開できるようにする。 ・体育に必要な体づくり、体ほぐし運動ができるようにする。 			
単元・学習内容			到達度目標	
集団行動 陸上競技	集合、整列等集団行動を正しく機敏に行うことができる。 走、跳、投の技術を高める。 自らの体力を知り体づくり、体ほぐし運動ができる。			
スポーツテスト バレーボール	<バレーボール> ボールの扱いに慣れる。 パスの技術を習得する。 スパイク、ブロックの技術を習得する。 三段攻撃を習得する。 ルールを理解し、ゲームが展開できる。			
サッカー	<サッカー> 攻守における基本動作を身につける。 リフティングの技術を習得する。 トラッピングの技術を習得する。 各種キックの技術を習得する。 ルールを理解し、ゲームが展開できる。			
柔道 剣道 ダンス より1つ選択 (男女混合)	<柔道> 礼法、姿勢等を身につける。 組み方、体さばき、受け身を身につける。 基本技能（固め技、投げ技）を習得する。 <剣道> 構え、体さばき等を身につける。 連続打突を習得する。 呼び込み技、連続よけ技を習得する。 <ダンス> テーマごとにモチーフづくり、フレーズづくりを習得し、作品を創ることができる。			
バスケットボール	<バスケットボール> ボールの扱いに慣れる。 パス、ドリブル、フリースローを習得する。 シュートの技術を習得する。 2人、3人の攻防を身につける。 ルールを理解し、ゲームが展開できる。			

シラバス（総合学科・看護科 体育）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
保健体育・体育	1年 (女子)	2	新保健体育 改訂版 (大修館書店)	アクティブ・スポーツ2010 (大修館)
科目の概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・集合、整列等集団行動を正しく機敏に行うことができるようにする。 ・各スポーツの基礎運動を理解するとともに、身に付くようにする。 ・各スポーツのルールを理解しゲームを展開できるようにする。 ・体育に必要な体づくり、体ほぐし運動ができるようにする。 			
単元・学習内容			到達度目標	
集団行動			集合、整列等集団行動を正しく機敏に行うことができる。	
陸上競技			走、跳、投の技術を高める。 自らの体力を知り体づくり、体ほぐし運動ができる。	
スポーツテスト バレーボール 又は テニス (クラスごと)			<バレーボール> ボールの扱いに慣れる。 パスの技術を習得する。 スパイク、ブロックの技術を習得する。 三段攻撃を習得する。 ルールを理解し、ゲームが展開できる。 <テニス> ボールラケットの操作に慣れる。 フォアハンドストロークの技術を習得する。 バックハンドストロークの技術を習得する。 サービスの技術を習得する。 ルールを理解し、ゲームが展開できる。	
柔道 剣道 ダンス より1つ選択 (男女混合)			<柔道> 礼法、姿勢等を身につける。 組み方、体さばき、受け身を身につける。 基本技能（固め技、投げ技）を習得する。 <剣道> 構え、体さばき等を身につける。 連続打突を習得する。 呼び込み技、連続よけ技を習得する。 <ダンス> テーマごとにモチーフづくり、フレーズづくりを習得し、作品を創ることができる。	
バスケットボール			<バスケットボール> ボールの扱いに慣れる。 パス、ドリブル、フリースローを習得する。 シュートの技術を習得する。 2人、3人の攻防を身につける。 ルールを理解し、ゲームが展開できる。	

シラバス（総合学科・看護科 体育）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
保健体育・体育	2年 (男子)	2	新保健体育 改訂版 (大修館書店)	ニューカラスポーツ2009 (一橋出版)
科目の概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・集合、整列等集団行動を正しく機敏に行うことができるようにする。 ・各スポーツの基礎運動を理解するとともに、身に付くようにする。 ・各スポーツのルールを理解しゲームを展開できるようにする。 ・体育に必要な体づくり、体ほぐし運動ができるようにする。 			
単元・学習内容			到達度目標	
集団行動 陸上競技			集合、整列等集団行動を正しく機敏に行うことができる。 走、跳、投の技術を高める。 自らの体力を知り体づくり、体ほぐし運動ができる。	
スポーツテスト テニス			<テニス> ボールの扱いに慣れる。 ストロークを習得する。 サービスを習得する。 ボレーを習得する。 ルールを理解し、ゲームが展開できる。	
サッカー			<サッカー> ボールの操作に慣れる。 パスの技術を習得する。 攻撃の戦術を理解する。 守備の戦術を理解する。 ルールを理解し、ゲームが展開できる。	
柔道 剣道 ダンス より1つ選択 (男女混合)			<柔道> 礼法、姿勢等を身につける。 組み方、体さばき、受け身を身につける。 基本技能（固め技、投げ技）を習得する。 <剣道> 構え、体さばき等を身につける。 連続打突を習得する。 呼び込み技、連続よけ技を習得する。 <ダンス> テーマごとにモチーフづくり、フレーズづくりを習得し、作品を創ることができる。	
バasketボール バレーボール バドミントン より1つ選択			基本技能を身につける。 ルールを理解して、ゲームが展開できる。 攻撃・守備の戦術を理解する。	

シラバス（総合学科・看護科 体育）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
保健体育・体育	2年 (女子)	2	新保健体育 改訂版 (大修館書店)	ニューカラスポーツ2009 (一橋出版)
科目の概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・集合、整列等集団行動を正しく機敏に行うことができるようにする。 ・各スポーツの基礎運動を理解するとともに、身に付くようにする。 ・各スポーツのルールを理解しゲームを展開できるようにする。 ・体育に必要な体づくり、体ほぐし運動ができるようにする。 			
単元・学習内容			到達度目標	
集団行動 陸上競技			集合、整列等集団行動を正しく機敏に行うことができる。 走、跳、投の技術を高める。 自らの体力を知り体づくり、体ほぐし運動ができる。	
スポーツテスト バレーボール 又は ソフトボール (クラスごと)			<バレーボール> パスの技術を習得する。 スパイク、ブロックの技術を習得する。 三段攻撃を習得する。 ルールを理解し、ゲームが展開できる。 <ソフトボール> 基本的な個人技能と集団技能を身につける。 ルールや知識を正しく理解する。 互いに協力して練習やゲームができるようにするとともに、公正な態度がとれるようにする。	
柔道 剣道 ダンス より1つ選択 (男女混合)			<柔道> 礼法、姿勢等を身につける。 組み方、体さばき、受け身を身につける。 基本技能(固め技、投げ技)を習得する。 <剣道> 構え、体さばき等を身につける。 連続打突を習得する。 呼び込み技、連続よけ技を習得する。 <ダンス> テーマごとにモチーフづくり、フレーズづくりを習得し、作品を創ることができる。	
バasketボール バレーボール バドミントン より1つ選択			<Basketボール> 基本技能を身につける。 ルールを理解して、ゲームが展開できる。 <バレーボール> 基本技能を身につける。 ルールを理解して、ゲームが展開できる。 <バドミントン> 基本技能を身につける。 ルールを理解して、ゲームが展開できる。	

シラバス（総合学科・看護科 体育）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
保健体育・体育	3年 (男子・女子)	3	新保健体育 改訂版 (大修館書店)	ニューカラススポーツ2008 (一橋出版)
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・集合、整列等集団行動を正しく機敏に行うことができるようにする。 ・各スポーツの基礎運動を理解するとともに、身に付くようにする。 ・各スポーツのルールを理解しゲームを展開できるようにする。 ・体育に必要な体づくり、体ほぐし運動ができるようにする。 			
単元・学習内容			到達度目標	
集団行動 陸上競技			集合、整列等集団行動を正しく機敏に行うことができる。 走、跳、投の技術を高める。 自らの体力を知り体づくり、体ほぐし運動ができる。	
スポーツテスト バレーボール テニス バドミントン			各種目のルールを理解し、ゲームが展開できる。	
バスケットボール ソフトボール から1種目選択			<バスケットボール> 基本技能を身につける。 ルールを理解して、ゲームが展開できる。 <バレーボール> 基本技能を身につける。 ルールを理解して、ゲームが展開できる。	

シラバス（総合学科 保健）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
保健体育・保健	1年	1	新保健体育 改訂版 (大修館書店)	図説新保健、新保健ノート (大修館書店)
科目の概要 と目標	生涯を通じて自らの健康を適切に管理し改善していく資質や能力を育てる。 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深める。			
単元・学習内容		到達度目標		
健康の考え方 わが国の健康水準と病気の傾向 健康のとらえ方 健康と意志決定・行動選択 さまざまな保健活動		健康については、様々な考えがあることを理解する。 健康水準が、向上を続けてきたことの背景を知り、これからの健康問題について興味関心を持つことができる。 ヘルスプロモーションの考え方を知り、それを支えている各種の保健活動を理解する。		
健康の保持増進と疾病の予防 生活習慣病 薬物乱用と健康 医薬品と健康 感染症とその予防		生活習慣病の因果関係（食事・運動・喫煙・飲酒との関連）を知り、その予防方法を実践することができる。 薬物乱用は心身の健康などに深刻な影響を与えることを知り、絶対に手を出さないように意識することができる。 感染症をとりまく状況の変化を知り、その予防方法を実践することができる。		
精神の健康 欲求と適応機能 心身の相関とストレス		人間の欲求と適応機制、精神と身体の間連について理解する。 欲求やストレスに対する適切な対処方法を知り、自己実現を図ることが重要であることを理解する。		
交通安全 交通事故の現状と要因 交通社会における運転者の資質と責任		運転者には、資質と責任が求められることを知る。		
応急処置 応急手当の意義とその基本 心肺蘇生法 日常的な応急手当		心肺蘇生法などの正しい応急処置が実践できる。		

シラバス（総合学科 保健）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
保健体育・保健	2年	1	新保健体育 改訂版 (大修館書店)	図説新保健、新保健ノート (大修館書店)
科目の概要 と目標	生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深める。			
単元・学習内容		到達度目標		
生涯の各段階における健康 思春期と健康 結婚生活と健康 加齢と健康		思春期の体の変化を理解し、各段階の健康課題に応じた自己の健康管理の方法を知る。 信頼できる性情報と性行動の選択ができる。 胎児を守る母胎の役割を知る。 安全で確実な避妊方法を知る。 結婚生活と健康のつながりを理解する。 年齢とともに、体と心が変化することを知る。 中高年を健やかに生きる方法を知る。		
保健医療制度と地域の保健 わが国の保健医療制度		様々な保健行政・保健サービスを知り、それを上手に利用できる。		
環境汚染と健康 大気汚染・水質汚濁・土壌汚染 環境と健康の対策 公害とその歴史 環境汚染の防止 産業廃棄物 環境と食品の保健 環境衛生活動 食品保健活動 健康の保持増進		大気にかかわる環境問題は、地球規模に広がっていることを理解する。 水質汚濁や土壌汚染は、様々な経路で健康に影響することを知る。 大気汚染、水質汚濁、土壌汚染は関係していることを知る。 環境汚染を防ぐために、社会的対策が取られ、自分たちにもできることを実践することができる。 行政や企業が、食品の安全を守っていることや、自分たち自身も食品の安全を守る役割を担っていることを理解する。		
労働と健康 職業病・労働災害 働く人の健康の保持増進		働き方の変化により健康問題が変化してきたこと理解する。 職業病、労働災害の予防方法を知る。		

シラバス（総合学科・看護科 美術Ⅰ）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
芸術・美術Ⅰ	1年	2	美術1 (出版社: 日本文教出版)	
科目の概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 美術の意義、美術作品のよさや美しさを理解し、積極的に創作することができる。 ・ 制作の意図を工夫し、より美しく表現しようとすることができる。 ・ 制作手順や技法を理解し、意図したことを表現することができる。 ・ 表現・鑑賞に必要な知識を習得し、積極的に取り組むことができる。 			
単元・学習内容		到達度目標		
○ 美術での取り組みについて (オリエンテーション)		・ 1年間の学習の取り組みについて理解する。		
○素描 (静物デッサン)		<ul style="list-style-type: none"> ・ モチーフの形や色のおもしろさを観察しながら描くことができる。 ・ 光と影の美しさ、素材の質感を感じながら描くことができる。 		
○油彩 静物画		・ 前回の静物デッサン作品から構図を考え、油絵静物画として完成させる。		
○休業中課題「美術館見学」(鑑賞)		・ 美術館で作品の鑑賞をし、気に入った作品について調べ、レポートにまとめる。		
○デザインとイメージ (オリエンテーション)		・ イメージ、抽象について理解を深める。		
○コラージュ (デザイン)		・ 雑誌や新聞などから文字や切り抜いた文字や図柄を 集め効果的に構成することができる。		
○平面構成 文字とデザイン		・ 文字とその文字から受けるイメージを平面構成することができる。		
○人物画 油彩 自画像		・ 対象を丁寧に見つめ、人間の内面まで表現するような自画像を描くことができる。		

シラバス（総合学科 書道Ⅰ）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
芸術・書道Ⅰ	1年	2	書Ⅰ（教育図書）	
科目の概要と目標	書道の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、書写能力を高め、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばす。			
単元・学習内容		到達度目標		
文房四宝		道具についての知識を得、手入れの方法に習熟する。 毛筆の性質に習熟する。		
篆刻の学習 楷書の学習		篆書について知り、姓名印を制作することができる。 鄭道昭の楷書の美を感じ取り、特徴を捉えて臨書できるようになる。		
楷書の学習		造像記の美を感じ取り、特徴を捉えて臨書できるようになる。 孔子廟堂碑と九成宮醴泉銘の美を感じ取り、特徴を捉えて臨書できるようになる。		
夏季課題		展覧会鑑賞レポート作成完了		
楷書の学習 行書の学習		褚遂良の楷書と顔真卿の楷書の美を感じ取り、特徴を捉えて臨書できるようになる。 王羲之の歴史的役割と書法の特徴を理解する。		
行書の学習		蘭亭序の美を感じ取り、特徴を捉えて臨書できるようになる。 顔真卿の書法の特徴と歴史的役割を理解する。 祭姪文稿の美を感じ取り、特徴を捉えて臨書することができる。		
行書の学習 漢字による創作 かなの学習		空海の風信帖の美を感じ取り、特徴を捉えて臨書できるようになる。 自分を表現するのにふさわしい言葉と表現方法を考え、作品を作ることができる。 かなの歴史を理解し、基本的書法に習熟する。		
かなの学習		高野切第三種の連綿、墨継ぎなど、美の要因となっているものを学び取ることができる。 特徴を捉えて臨書するとともに、短冊・色紙に清書をすることができる。		
かなの学習 漢字かな混じりの書の学習		6文字のタイトル語の表現を、漢字と仮名の調和を図りながら考えることができる。 好きな詩の表現を考え、創作することができる。		

シラバス（看護科 書道Ⅰ）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
芸術・書道Ⅰ	1年	2	書Ⅰ（光村図書）	
科目の概要と目標	書道の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、書写能力を高め、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばす。			
単元・学習内容		到達度目標		
文房四宝		道具についての知識を得、手入れの方法に習熟する。 毛筆の性質に習熟する。		
篆刻の学習 楷書の学習		篆書について知り、姓名印を制作することができる。 鄭道昭の楷書の美を感じ取り、特徴を捉えて臨書できるようになる。		
楷書の学習		造像記の美を感じ取り、特徴を捉えて臨書できるようになる。 孔子廟堂碑と九成宮醴泉銘の美を感じ取り、特徴を捉えて臨書できるようになる。		
夏季課題		展覧会鑑賞レポート作成完了		
楷書の学習 行書の学習		褚遂良の楷書と顔真卿の楷書の美を感じ取り、特徴を捉えて臨書できるようになる。 王羲之の歴史的役割と書法の特徴を理解する。		
行書の学習		蘭亭序の美を感じ取り、特徴を捉えて臨書できるようになる。 顔真卿の書法の特徴と歴史的役割を理解する。 祭姪文稿の美を感じ取り、特徴を捉えて臨書することができる。		
行書の学習 漢字による創作 かなの学習		空海の風信帖の美を感じ取り、特徴を捉えて臨書できるようになる。 自分を表現するのにふさわしい言葉と表現方法を考え、作品を作ることができる。 かなの歴史を理解し、基本的書法に習熟する。		
かなの学習		高野切第三種の連綿、墨継ぎなど、美の要因となっているものを学び取ることができる。 特徴を捉えて臨書するとともに、短冊・色紙に清書をすることができる。		
かなの学習 漢字かな混じりの書の学習		6文字のタイトル語の表現を、漢字と仮名の調和を図りながら考えることができる。 好きな詩の表現を考え、創作することができる。		

シラバス（総合学科・看護科 音楽Ⅰ）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
芸術・音楽Ⅰ	1年	2	MOUSAⅠ (教育芸術社)	Music Note (啓隆社)
科目の概要 と目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。			
単元・学習内容			到達度目標	
独唱曲に親しみ、そのよさを味わう。			日本語や外国語に関心を持ち、独唱曲のよさに触れる。 発声などを含め、自分なりに歌の表現の向上を図る。	
アンサンブルの響きを味わう。 —合唱曲を中心に—			アンサンブルのよさを体感することができる。 合唱のよさを感じ取ることができる。 発声の仕方などを自ら工夫して表現することができる。	
アンサンブルの響きを味わう。 —合唱曲を中心に—			合唱の形態を理解し、それぞれの響きの違いや曲の雰囲気の違いを感じ取る。 互いに協調し合って音楽を作り上げる。 各パートの特徴や役割を理解する。	
クラシック音楽を味わう。			さまざまな形態の音楽に触れる。 曲の構成や雰囲気を作り上げている要素などを理解する。 アーティキュレーションなどの演奏法にも注意しながら表現することができる。	
クラシック音楽を味わう。			さまざまなクラシック音楽に積極的に触れる。 クラシック音楽のよさに触れる。 曲の背景や様式などを理解し、その特徴を理解する。	
アンサンブルの響きを味わう。 —器楽曲を中心に—			自ら進んでさまざまな楽器に取り組むことができる。 楽器による響きを把握し、そのよさを感じ取ることができる。 音量やアーティキュレーションなどに留意しながら調和のとれたアンサンブルをすることができる。	
作曲をしてその曲を表現する。			作曲をする楽しさを知り、自ら進んで取り組むことができる。 曲の構成や要素など、曲の雰囲気を作り上げるために必要な基本を理解する。	
世界の諸民族の音楽や日本の伝統音楽に親しむ。			日本の音楽や諸外国の音楽に触れ、それぞれの国の文化の一端を知る。 さまざまな国や地域の音楽に触れ、そのよさや美しさを感じ取ることができる。 歌詞の理解や曲の特徴を踏まえ、曲の雰囲気に合った表現を工夫することができる。	

シラバス（総合学科 英語Ⅰ）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
英語・英語Ⅰ	1年	4	Polestar English Course I (数研出版)	Workbook (数研出版)
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校との連携を考慮し、辞書の使い方に慣れさせながら高校での英語学習の基本な習慣や態度を身につける。 ・豊富な題材を通じて、生徒に様々な文化を理解させ、異文化社会の中で生きる力を養う。 ・「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4技能を、有機的に関連させる指導を通じて、英語で実践的コミュニケーションを行うための英語の基礎力を養う。 ・英文読解・語彙・文法など総合的な英語力を養う。 			
単元・学習内容	到達度目標			
予習・復習・ノートのとり方指導、辞書指導、授業の受け方指導 Lesson 1 (1, 2, 3)	高校英語の学習習慣を身につける。 日本人による英語のつづり間違いに関するユーモアあふれる文章を読み、正しい英語のつづりに関する考察を深める。 to-不定詞 (名詞的用法) / 動名詞 / It is ~for+人+to-不定詞			
Lesson 2 (1, 2, 3, 4)	漫画家シュルツ氏の随筆を読み、実生活と作品の関係、仕事への熱意を読み取る。 現在分詞・過去分詞 / to-不定詞 (形容詞的用法・副詞的用法) / 現在完了・現在完了進行形			
Lesson 3 (1, 2, 3, 4)	スシの変遷と世界への進出を呼んで、日本の食文化に対する考察を深める。 関係代名詞 / It seems that ~および seem to-不定詞			
Function1	[勧誘・提案/依頼/意図] の表現を習得させ、レストランでの英語の注文のしかたを理解する。			
Lesson 4	南アフリカの少女へのインタビューを読み、障害を持つ人への接し方やバリアフリーについて考える。 S + V + what などの節 / 過去完了 / 関係代名詞 what			
Lesson 5 (1, 2, 3, 4)	人類にとって未知の領域である深海について、最近の研究をもとに書かれた文を読みとる。 S + 使役・知覚動詞 + O + 原形不定詞 / 関係副詞 / 形式主語 It is ~that...			
Lesson 6 (1, 2, 3, 4)	写真家 星野道夫氏のアラスカ寒村での生活体験を読みとらせ、自己の夢実現のためにとった行動について考える。 S + V + 現在分詞 / 現在分詞を用いる分詞構文 / 強調構文			
Function2	[許可を求める/謝罪/禁止] の表現を習得させ、異文化について理解を深める。			
Lesson 7 (1, 2, 3, 4)	オノ・ヨーコについての英文を読み、作品のおもしろさを理解し、芸術と平和、人の生き方について考える。 S + V + O + why, how などの節 / 仮定法過去 (If ~, Without~)			
Lesson 8 (1, 2, 3, 4)	アイガモ農法に関する英文を読み、その魅力と特徴を理解し、有機農業、食品の安全、環境問題などについて知識を深める。 S + 知覚動詞 + O + 現在分詞 / 仮定法過去完了 (If ~, Without~) / 助動詞 + 受け身			
Function3	ペットという身近な話題から、[アドバイス/説明] の表現を習得する。			

シラバス (看護科 英語 I)

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
英語・英語 I	1年	4	POWER ON English I (東京書籍)	Workbook (東京書籍)
科目の概要と目標	英文読解・語彙・文法・リスニング&スピーキングなど総合的な英語力を養う。			
単元・学習内容		到達度目標		
Lesson1 Greeting around the World	真の国際交流のための世界のあいさつを紹介しつつ、世界共通のあいさつはスマイルであることを理解する。			
Lesson 2 Food Cultures	日本や世界中の食文化について考え、それぞれの始まりが食料の保存と関係があることを理解する。			
Lesson 3 Haiku: Here, There, and everywhere	日本の伝統文化である俳句は今や国際的であるので、英語の俳句について理解する。			
Lesson 4 Quill, the Guide Dog	盲導犬クイールの物語を読み、盲導犬の存在や仕事について理解する。			
Lesson 5 Sparky	チャーリーブラウンの誕生秘話を、作者であるチャールシュルツさんの人生から学ぶことができる。			
Lesson 6 Hippos' Secret Substance	カバの赤い汗についての研究の話を読み、その秘密について理解する。			
Lesson 7 So Many Countries, So Many Laws	世界の不思議な法律について学び、それが生まれた背景を考え、理解を深める。			
Lesson 8 The Emerald Isle	アイルランドの作家や音楽家などの文化について理解する。			
Lesson 9 Matsui Hideki on the world stage	松井選手の野球人生について読み、自分自身の生き方について考える。			
Lesson 10 Pay it forward	「ペイ・フォワード」の話を読み、少年の考えた恩送りについて考えることができる。			

シラバス（総合学科・看護科 家庭基礎）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
家庭科・家庭基礎	1年	2	高等学校改訂版 家庭基礎 (第一学習社)	調理実習テキスト (富山県高等学校家庭科教育会編)
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・衣食住の生活を総合的に学び、「健康な生活」を実践する力を身につける。 ・「ささえあって生きる」ことについて、高齢者や乳幼児とのかかわり及び地域社会とのかかわりとさまざまな制度のしくみから理解する。 ・様々な人々との「つながり」と「自分らしさ」を求め、自立をめざす。 			
単元・学習内容		到達度目標		
ガイダンス 食べる 食生活と家族の健康		家庭科の学習目標を知る。 私たちの食生活と栄養を知る。 私たちは何を食べてきたかを知る。 日本の食文化と世界の食文化を考え、理解する。 献立と調理の実習。 日本の米とだしの文化を知る。		
食べる 食生活と家族の健康		食品の選択の仕方を理解する。 食生活の安全と衛生を考えることができる。 献立と調理の実習 スローフードを考えることができる。		
装う 衣生活と家族の健康		私たちの暮らしと被服の関係を知る。 装いの基本を理解する。 被服素材の性能と加工を理解する。 被服の選択と手入れを知る。		
ホームプロジェクトの実践①		生活の中の問題点を発見し解決する実践的な応用力を身に付ける。		
共に生きる 人の一生と家族・家庭		人の一生と生涯発達を知る。 家族と家庭の存在を考えることができる。 自分の将来設計を考えることができる。		
豊かな生涯へ 保育		乳幼児の心身の発達を知る。 親の役割と保育を理解する。 子供の福祉と社会的支援を考えることができる。		
消費を考える 消費生活と環境		私たちの暮らしと家庭の経済の関係を知る。 消費者としての課題を把握する。 私たちの消費生活と環境を考えることができる。		
ホームプロジェクトの実践②		夏休みに取り組んだ課題をさらに発展させ、地域とのつながりを考え、理解を深める。		
豊かな生涯へ 高齢者福祉		高齢社会の現状と課題を知る。 高齢者の福祉と社会参加の状況を知る。 ユニバーサルレシピによる実習をする。		
住まう 生活と家族の健康		私たちの暮らしと住まいを知る。 健康で安全な住まいを考えることができる。 快適な住生活を考えることができる。		

シラバス（総合学科 情報 C）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
情報・情報 C	1年	2	新・情報C 豊かなコミュニケーション (日本文教出版)	
科目の概要と目標	情報のデジタル化や情報通信ネットワークの特性を理解させ、表現やコミュニケーションにおいてコンピュータなどを効果的に活用する能力を養うとともに、情報化の進展が社会に及ぼす影響を理解させ、情報社会に参加する上での望ましい態度を育てる。			
単元・学習内容		到達度目標		
第1章 情報機器の発達とデジタル化 第1節 わたしたちの暮らしの中の情報 第2節 情報のデジタル化	暮らしの中の情報や情報機器について理解する。 アナログとデジタルの違いを理解する。 さまざまな形態の情報をデジタル化する手順を理解する。 情報のデジタル化の利点と問題点を理解する。			
第2章 ネットワークでかわる社会 第1節 社会で利用されている情報システム 第2節 ネットワークの仕組み	効果的で安全なネットワークの仕組みを理解する。 情報を共有するための取り決めや技術を理解する。			
第3章 表現とコミュニケーション 第1節 広がるコミュニケーション 第2節 さまざまな表現 第3節 プレゼンテーションによる表現	情報の伸展によるコミュニケーションの変化を理解する。 デジタル技術による表現の変化を理解する。 効果的なプレゼンテーションの方法を習得する。 プレゼンテーションを見聞きする側の振る舞い方を身につける。			
第4章 総合実習 第1節 総合実習の進め方	総合学習の意義や実習の流れを理解する。 実習の流れを理解して、総合実習に取り組む。 総合実習のプロセスや成果をまとめて残す。			
第5章 情報通信社会を築く 第1節 情報化の恩恵 第2節 情報化が内包する問題 第3節 自分なりの意見をもとう	情報化の進展が人々の暮らしにもたらした恩恵を理解する。 健全な情報社会を作り出すために必要なことを理解する。 情報化の進展に伴って生じた問題を理解する。 情報社会の中で暮らすために必要な注意点を理解する。			

シラバス（総合学科 産業社会と人間）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
産業社会と人間	1年	2		「産業社会と人間」に関するプリント 職業まるわかり辞典 スタディサポート 進路アドバイスシステム（職業・学問編）
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・職業選択に必要な能力、態度、将来の職業生活に必要な態度やコミュニケーション能力、表現能力を育てる。 ・生涯に渡って学習に取り組む意欲や態度を培わせる。 ・豊かな社会を築くための積極的に寄与する意欲や態度を身につけさせる。 ・社会の中における自分自身の在り方、生き方を探求する姿勢を養う。 			
単元	学習内容	到達度目標		
自己を見つめ未来を描く	3分間スピーチコンテスト	3分間以内のスピーチを通じて、自分自身をアピールできる表現能力を身に付ける。 自分自身を再認識するとともに、多くの級友の考え方を学び、参考とすることができる。		
職業研究	進路適性検査 職業調べ 社会人講話	自己の適性を知るとともに、興味・関心の在りかを探る。 様々な職業について資料を使って調べ、将来の職業について考え、理解を深める。 社会で活躍している方の話を聞き、将来就きたい職業や学びたい学問を考える参考とすることができる。		
学問研究	学問調べ クラス発表会	「職業調べ」で調べた職業に関連する学問について、インターネットや資料を使って調べ、将来の進路の参考とすることができる。		
進路研究	上級学校を知る 社会人マナー講座 上級学校・職場見学 学校・職場見学全体発表会	上級学校の種類や入学試験制度、文系・理系の主な学部についての説明を聞き、進路選択の参考とすることができる。 「社会人マナー講座」を通して、挨拶や話し方、社会人としてのマナーを学び、実践することができる。 上級学校や企業・施設を訪問し、学問や職業に関する理解を深める。 「全体発表会」を通じて、発表力・プレゼンテーション能力を身につける。		
自己を高める	スタディサポートテスト 国際理解講座	基礎学力の到達度を知り自己の生活状況を振り返ることで、学習や進路に対する意識を高めることができる。 日本に滞在する外国の方や海外で活躍された日本の方から外国の歴史・文化や言語について学び、国際理解を深める。		
ディベートコンテスト	マイクロディベート ディベートコンテスト	ディベートコンテストを通してコミュニケーション能力を身に付けることができる。		
ライフプラン	ライフプラン作成 クラス発表会	ライフプランを作成することによって、自分の理想や夢を実現するために、高校生という時期に何をしなければならないのかについて考えを深めることができる。		
1年間のまとめ	「産業社会と人間」発表会 1年間のまとめ（アンケート）	「産業社会と人間・発表会」を通して、1年間の活動を振り返るとともに、活動の成果を発表することができる。		

シラバス（看護科 基礎看護（講義））

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
看護・基礎看護	1年	1	基礎看護 (実教出版)	看護学概論・基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ (医学書院)
科目の概要と目標	看護の意義と保健医療福祉における看護の役割を理解すると共に看護に関する知識と技術を習得し、基礎的能力を養う。			
単元・学習内容			到達度目標	
第1章 看護の意義と役割			看護の対象は、身体的・精神的・社会的側面をもつ統一体としての人間であり、看護を行う場合には、これらの各側面を総合的に把握する必要があることを理解する。	
第1節 看護の対象の理解				
第1 身体的・精神的・社会的統一体としての人間			看護の対象は、身体的・精神的・社会的側面をもつ統一体としての人間であり、看護を行う場合には、これらの各側面を総合的に把握する必要があることを理解する。	
第2 人間の基本的欲求と看護				
第3 人間の成長・発達の過程			看護は、豊かな人間愛と職業倫理並びに科学的な知識に基づいて、人々が健康を保持・増進・回復し、あるいは安らかな死を迎えることができるように援助する専門職であることを理解する。	
第2節 看護の意義				
第1 看護の目的と機能				
第2 患者とその家族の理解				
第3 看護の変遷			人間が生活している家庭、地域、学校、職場などの様々な場において看護活動が行われていること、またそれらの看護活動の特徴を学習させることにより看護の役割を理解する。	
第4 現代の看護				
第3節 看護活動の分野				
第1 家庭における看護				
第2 学校における看護			日常生活が人の健康や成長・発達に大きく関わりを持つことについて理解する。	
第3 職場における看護				
第4 病院における看護			排泄の生理に関する学習を基礎として、排泄に影響を及ぼす因子について理解する。	
第2章 日常生活と看護				
第1節 日常生活の理解			睡眠に関する基礎的知識を理解させるとともに、不眠への対応や安静を保つための援助に関する知識と技術を習得する。	
第1 日常生活の意義				
第2 患者にとっての日常生活の意義と看護の役割			人間の健康にとって望ましい環境条件について学習させた上で、環境調整が患者の健康回復に及ぼす影響を理解する。	
第3節 排泄				
第1 排泄の生理と習慣			睡眠に関する基礎的知識を理解させるとともに、不眠への対応や安静を保つための援助に関する知識と技術を習得する。	
第2 排泄の援助と看護者の役割				
第5節 睡眠と休息			人間の健康にとって望ましい環境条件について学習させた上で、環境調整が患者の健康回復に及ぼす影響を理解する。	
第9節 病床環境の調整				

シラバス（看護科 基礎看護（実習））

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
看護 基礎看護	1年	2	基礎看護 (実教出版)	看護学概論・基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ (医学書院) 問題演習4 基礎看護学 (医学芸術社)
科目の概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎看護実習における基礎的項目の知識と技術を身につける。 ・実習する経験を通して看護感を育み問題解決の能力を養う。 ・看護（臨床）をおこなうために必要な能力と態度を養う 			
単元・学習内容			到達度目標	
「病床環境、体位」 <ul style="list-style-type: none"> ・ベッドメイキング ・リネン交換 ・体位変換 ・歩行、移動、移送介助 			学習内容を理解し、その技術を身につける。 基礎的学習から、発展・応用する。	
「食事」 <ul style="list-style-type: none"> ・配膳、食事介助 ・口腔ケア 			学習内容を理解し、その技術を身につける。 基礎的学習から、発展・応用する。	
「清潔」 <ul style="list-style-type: none"> ・寝衣交換 ・清拭 ・部分浴 ・洗髪、整容 			学習内容を理解し、その技術を身につける。 基礎的学習から、発展・応用する。	
「その他」 <ul style="list-style-type: none"> ・身体計測 ・包帯法 ・罨法 			学習内容を理解し、その技術を身につける。 基礎的学習から、発展・応用する。	

シラバス（看護科 基礎看護（実習））

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
看護 基礎看護	2年	4	基礎看護 (実教出版)	新体系看護 基礎看護①③ 看護学概論・ 基礎看護技術 (マジカルフロント社) 問題演習 4 基礎看護学 (医学芸術社)
科目の概要と 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎看護実習における基礎的項目の知識と技術を身につける。 ・ 実習する経験を通して看護観を育み問題解決の能力を養う。 ・ (臨床) 看護をおこなうために必要な能力と態度を養う。 			
単元・学習内容			到達度目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・ バイタルサイン ・ 無菌操作 ・ 血圧測定 ・ センター実習 「生物」「化学」「物理」 ・ 吸入・吸引 ・ 感染予防について（講義） ・ 排泄について（講義） ・ 便尿器のあて方 ・ 浣腸 			<p>学習内容を理解し、その技術を身につける。 基礎的学習から、発展・応用する。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ オムツ交換、摘便 ・ 導尿、留置カテーテル ・ 与薬法について（講義） ・ 注射 ・ 静脈内注射 ・ 採血 ・ 褥創 			<p>学習内容を理解し、その技術を身につける。 基礎的学習から、発展・応用する。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 点滴静脈注射 ・ フィジカルアセスメント ・ 救急法の講習 ・ 赤ちゃんの抱き方・寝衣交換 ・ 経管栄養 			<p>学習内容を理解し、その技術を身につける。 基礎的学習から、発展・応用する。</p>	

シラバス（看護科3学年 看護臨床実習）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
看護 看護臨床実習	3年	10		
科目の概要と 目標	看護に関する各科目において習得した知識と技術を臨床の場で活用し実践する経験を通して、看護観をはぐくみ、問題解決の能力を養うとともに、臨床看護を行うために必要な能力と態度を身につける。			
単元・学習内容			到達度目標	
特別養護老人ホーム・保育所実習			高齢者や乳幼児について理解する。	
病院実習			患者が有する諸問題に対して看護援助の一連の過程を体験することにより、問題解決の能力を養うとともに、臨床看護を行うために必要な能力と態度を身につける。	

シラバス（看護科 基礎看護（講義））

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
看護 基礎看護	3年	2	基礎看護 (実教出版)	新体系看護学 基礎看護① 看護学概論 (メジカルフレンド社)
科目の概要と目標	看護の意義と保健・医療・福祉における看護の役割を理解し、日常生活の援助及び診療における看護に関する基礎的な知識と技術を習得すると共に、看護を適切に行う能力と態度を身につける。			
単元・学習内容			到達度目標	
第4章 看護活動の展開 第3節 看護過程について (1) 看護過程について			疾病・障害の経過に応じた看護の概要および看護者と患者との人間関係のあり方を学習し、適切な看護を行うための一連の過程について理解する。	
(2) ヘンダーソン理論			疾病・障害の経過に応じた看護の概要および看護者と患者との人間関係のあり方を学習し、適切な看護を行うための一連の過程について理解する。	
第1節 主な症状と看護			疾病・障害の経過に応じた看護の概要および看護者と患者との人間関係のあり方を学習し、適切な看護を行うための一連の過程について理解する。	
基礎看護技術の応用			戴帽式前に基礎看護技術を確認する。	
第1章 看護の意義と役割 第4節 看護職とその倫理 第1 専門職としての看護			人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に根ざした人間観・看護観を養うとともに、患者の質を重視した看護の必要性について理解する。	
第2 看護倫理			病名告知、尊厳死、死の判定と臓器移植などの現代医療の問題を通して、看護者が生命に関する倫理観をもって行動する重要性を理解する。	